



【NO.06】2024年春
本願寺吉崎別院だより よっさきさん

発行

本願寺吉崎別院

〒922-0679
福井県あわら市吉崎 1-201
電話/FAX:0776-75-1903

春季彼岸会・永代経のご案内

3月20日、春季彼岸会・永代経法要をお勤めいたします。永代経法要は午前中、彼岸会は午後からの法要となります。ご参拝の方には参拝記念品として「蓮如さんのお言葉缶バッジ」をご用意いたしました。

また、お彼岸にあわせ「御山」蓮如上人銅像前でも東西吉崎別院合同での法要がお勤めされます。

御山は河津桜の満開を迎えていることでしょう。道の駅でのお買い物も楽しみつつ、ごゆっくりと賑々しくお参りくださいませ。

皆さまのお彼岸参りを心よりお待ちしております。

【期日】3月20日（水）

御山法要（9時半）

御山蓮如上人像前

※雨天時は吉崎東別院本堂

永代経法要（11時）中宗堂

彼岸会法要（14時）本堂

【布教】別院職員



蓮如上人御忌法要のご案内



吉崎別院最大のご仏事「蓮如上人御忌法要」を今年も4月27日（土）から5月1日（水）までの5日間、左記の通り厳修いたします。

「年に一度は吉崎へ」を合言葉に、お誘いあわせ賑々しくお参りくださいませよう、ご案内申し上げます。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

【期日】4月27日（土）より5月1日（水）まで

各日ともに日中（午前10時）・連夜（午後2時）の2座

※本堂でのご法要45分前（日によって前後します）に、蓮如上人のご眞影を安置する中宗堂にて、職員によるお勤めが修行されます。

【布教】吉崎近隣の加賀、あわら、坂井市を中心とした本願寺派布教使の方に毎座入れ替わりで60分ほど（1座2席）のご法話をいただきます。各座のご講師は4月中旬ごろに決定する予定です。決定しましたら別院境内にて掲示予定です。

【御忌法要期間中の特別法要】

【念力門法要】4月27日（土）日中（午前）

本山からいただいた「念力門」を250kmの道のりを運ばれた方々のご功労を偲び、念力門下の顕彰碑前で執り行われます。

【朝倉公法要】4月27日（土）連夜（午後）

吉崎御坊の建立にあたって、ご功績のあった戦国大名朝倉孝景公を偲ぶ法要です。本堂での法要後、引き続き執り行われます。

【本光坊法要】4月28日（日）連夜（午後）

お聖教を命にかけて守った本光坊了願様のご功績を偲ぶ法要です。本堂での法要後、引き続き足羽組本向寺様により執り行われます。

【御山法要】4月29日（月）日中（午前）

蓮如上人が滞在の当時を偲び、旧跡地「御山」蓮如上人銅像前で東西別院合同で法要が執り行われます。

【お齋・ご休憩】お弁当の場所など、ご休憩は門徒会館食堂をご利用いただけます。お弁当のご予約を承りますので、4月15日（月）までにご相談ください。



【法要のお手伝い募集】法要修行に必要な人手が足りておらず大変困っております。どのような形でも結構ですので、法要をお手伝いくださる方を募集しております。なにとぞお助けくださいますようお願い申し上げます。詳しくは別院までお問い合わせください。

能登半島地震について

当別院では本堂内陣の人天蓋の環珞が一部破損し落下したほか、本堂正面に位置する念力門の瓦が数枚落下するなど、幸いにも深刻な被害とはなりませんでしたが、できるだけ早く復旧に努めたく考えております。

しかしながら、今も震災の被害に苦しむ方々が多くいらつしやることです。心よりお見舞い申し上げます。

宗派でも復興支援を目的として義援金の受付をしておりますほか、石川教区にも能登半島地震支援センターが設置されております。

■浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金

(www.hongwanji.or.jp/news/cat5/002242.html)

■浄土真宗本願寺派能登半島地震支援特設ページ
(jovial-notosieni1.wordpress.com)

尾上幼稚園卒園参拝



3月2日(土)、卒園を迎える福井市(福井別院境内)の尾上幼稚園の園児さんたちが「お別れ遠足」として本堂にお参りされました。仏教讃歌のかわいらしい歌声や、元気いっぱいのお念仏の声



が実に微笑ましく、別院職員の法話にも熱心に耳を傾けてくださいました。小学生になっても大人になっても、また吉崎にお参りしてくださいさると大変うれいす。

まつえん
おめでとう

子供会 in 吉崎別院

(福井教区円陵組少年部)



3月3日(日)、福井教区円陵組少年部によって企画された「子供会 in 吉崎別院」が吉崎別院本堂で開催されました。

おごそかな雅楽の演奏に合わせ、参加者みんなが歌う「恩徳讃」が響き渡り、音楽ライブの時間は、ウクレレやスチールドラムの楽しい音色に合せて大人

も子どもリズムをとりながら、楽しんでいらつしやいました。

イベントを知らずに参拝にいられた方々も、にぎやかな雰囲気誘われて一緒に参加されました。



〈9月12・13日〉 吉崎別院報恩講

〈9月14日〉
850/800慶讃法要



「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」を今年9月14日(土)、吉崎別院と崇敬3組(石川教区江南組・福井教区阪北組、円陵組)合同でお勤めいたします。

これに先立つ9月12・13日には、吉崎別院報恩講を併修いたします。(例年8月上旬に修行)

この3日間を中心とした期間は、お寺のユニークな掲示伝道などを題材にした大人にも子どもにも届くような言葉のパネル展を開催予定です。

14日の慶讃法要ではお稚児さんを募集しますので、吉崎別院までお問合せください。

蓮如上人のお言葉より



仏法をあるじとし、

世間を客人とせよと云えり。

仏法のうえよりは、

世間のことは時にしたが

あいはたらくべきことなりと。

(蓮如上人御一代記聞書 第五百七十七条)

この度の震災で被災された方々ならびにご関係の皆様には心よりお見舞い申しあげます。

かけがえない大切なものにとりかえしのつかない損失を被った人間にとって、「復興」が「復旧」を意味しえないのは明らかです。以前の日常を元通りにとり戻すことは決してできない以上、「復興」の「興」とはいったいなにを意味するのか。これは被災の立場にも支援の立場にも共通して大きく横たわる問題として取り組んでいかねばならない事柄でしょう。

また、かけがえないものの突然の喪失とは、誰の身にもかつて起こり、今起こり、未来にも起こりうる事柄なのです。

蓮如上人のお言葉には、私たちの日常世界としての「世間」について言及されたお言葉をたくさん見つけることができます。右のお言葉によく似たものに、

「仏法には世間のひまを欠きてきくべし。世間の隙をあけて法を聞くべきように思うこと、あさましきことなり。仏法には明日ということはあるまじき」

というお言葉もあります。どちらも同じ事柄を違った角度からおさとしくくださったものでしょう。

いずれのお言葉も、俗世に生きる身であればこそ、一日も早くお念仏の信心をいただくようにとご催促くださるものです。単に命終の浄土往生を信じよるこぶばかりでなく、お念仏に生かされる日常の生活をこそ味わい歩んでほしいとの思召しといただかれます。

その肝要は世間で考える主と客を真逆にとらえるところに見出されてまいります。「私の家にお仏壇があると言うのじゃない。仏様のおわします家に私が住まわせてもらっていると心得られよ。」とのお念仏の先輩方の言葉も思い起こされます。

あたかもだまし絵のように、阿弥陀様の光に照らされて、今まで見てきた世界が違って見えてくるような経験を生きたこと。これを「照育」とも申します。お念仏のお育てにあずかることを言います。蓮如上人のお言葉には「ひとたび仏法を心に入れもうさんは、鷹揚なれどもおどろき易し(世俗の細かなことは気にしなくとも、感受性豊かに細やかである)」とも示されます。

世間では往々にして、苦悩に対して苦悩を救う薬を求める考え方をいたします。病を救う薬はないか。老いを救う薬はないか。死を救う薬はないか。これらは極めて当たり前のこととも考えられますが、老いや病や死や、その他様々な消し難い苦悩の消失を祈り願い求めつつ送る人生から、いったいどんな私が見出されてくるのでしょうか。

仏教では、病そのものを薬として見出されてくる私。老いそのものを薬として見出されてくる私。

死そのものを薬として見出されてくる私。これらに向き合い、私の本当の救いに目を向けることを教えてくださいます。

たった一度の人生ならば、私が本当に送りたい生き方とはいったいどちらでしょう。

仏教の象徴となる花といえは蓮ですが、それは泥の中から咲く花が蓮だからです。泥を私の煩惱や苦悩にたとえ、その泥の中でこそさとり花が開く。そのありさまを清らかものとして尊ぶ宗教が仏教なのです。

救いようのない悪人をこそ第一の正客として誓われた、阿弥陀様のお救いをいただくお念仏の道は、どんなに救いがたき苦悩の中からも咲く花があることを信じて歩む仏教であるとも申せましょう。いったいどんな花が咲くのか。それはお一人お一人がお念仏とご相談なさりつつ、ご覧になっていかれることでしょう。

良薬口に苦しと申します。時にその苦悩や苦痛は耐えがたく、絶望的なまでに苦いものであります。身に受けた苦悩や苦痛に対して、ありがたうと言える日がやってくるかどうかは分かりませんが、お念仏とともにそれらを想いつつ、仏祖の前にひとり静かに手を合わせる日をむかえるならば、どんなに有り難きことであろうかと思っております。

あるいはまた、わが身がふりまいた苦悩や苦痛に対して、お念仏のご報恩のためにと、たどたどしくも誠実に向き合う日々がくるならば、どんなに有り難きことであろうかと思っております。

蓮如上人のお言葉を、苦悩を生きる今に向けて、肝に銘じたいお言葉といたただくのでございます。

蓮如上人のお言葉缶バッジ

寺務所前にガチャガチャ設置



道の駅への買い物・観光目的の方々にも蓮如上人のお人柄やお言葉にふれていただけるよう、『蓮如上人御一代記聞書』のお言葉を抜粋した「蓮如さんのお言葉缶バッジ」を制作しました。職員が業務用機械を使って一個一個手作りで『聞書』の条文・現代語訳・一口法話の紙片とともに、一個一個カプセルにつめております。

※本事業は、百華金庫の教化助成金の交付を受け、実施しております。



蓮如さんの吉崎西別院讃仰会

住所：〒922-0679 福井県あわら市吉崎1-201 本願寺吉崎別院内
 電話/FAX：0776-75-1903 メール：info@rennyo-sangou.com
 ウェブサイト：https://rennyo-sangou.com
 銀行口座：福井銀行 大聖寺支店 普通口座 531-6033589 口座名 蓮如さんごう (レンニョサンゴウ)



地震に強い
金属屋根の北川

KITAGAWA

〒918-8543
福井県福井市問屋町 2-65
☎ 0776-22-2694
[FAX] 0776-21-8186

(有) 庭研ふくい

〒910-2161
福井市脇三ヶ町29-11-1
電話・Fax 0776-41-3901

企業会員様
募集中！

吉崎別院の刊行物
などに企業会員様の
広告を掲載いたします

「蓮如さんの吉崎西別院讃仰会」では、浄土真宗の礎とお敬いする蓮如上人のご遺徳を顕彰し、本願寺吉崎別院を中心としたお念仏相続の環境を永きにわたって支援することを目的としております。趣旨にご賛同くださる皆さまに、当会へのご入会をお願い申し上げます。



www.hongwanji-yoshizaki.info
本願寺吉崎別院 公式サイト

ご懇志のお振替 / お振込

【ゆうちょ銀行からのお振替】
記号・番号：00780-7-4561

【ゆうちょ銀行以外の金融機関】
ゆうちょ銀行 ○七九店 <当座> 0004561
※ yossaki@mx3.fctv.ne.jp 宛にお名前とご住所のご連絡をお願いいたします。

年間行事予定

<除夜会 / 元旦会> 12月31日 / 1月1日
 <春季彼岸会> 春分の日
 <御忌法要> 4月27日～5月1日
 <報恩講> 9月12・13日
 <秋季彼岸会> 秋分の日

寺務受付

9時～16時 (一座経は事前にご予約ください)
 ※都合により閉めている場合がございます。

別院へのアクセス

加賀インターから 約10分 / 金津インターから 約15分
 芦原温泉駅・大聖寺駅から 車で20分
 あわら湯のまち駅から 車で約20分
 「あわらぐるっとタクシー」道の駅「蓮如の里あわら」下車
 「キャン・バス」海まわり線 越前加賀県境の館 下車

